



APPENDIX **A**

Cisco ISE 3300 シリーズ ハードウェアの設置準備

この付録では、安全に関するガイドライン、設置場所の要件、および Cisco Identity Services Engine (ISE) 3300 シリーズ アプライアンスを設置する前に、従う必要のあるイーサネット コネクタとコンソール ポートのガイドラインについて簡単に説明します。この情報については、次のトピックを参照してください。

- 「安全に関するガイドライン」(P.A-1)
- 「設置場所の準備」(P.A-6)
- 「イーサネット コネクタおよびコンソール ポートのガイドライン」(P.A-15)

安全に関するガイドライン

Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスの設置を開始する前に、人身事故または機器の損傷を防ぐために、この付録の安全に関するガイドラインと、「ラックマウント構成のガイドライン」(P.B-1)を確認してください。

さらに、アプライアンスの交換、設定、または保守を行う前に、「関連資料」(P.xiii)に示されている安全上の警告を確認してください。この項では、次のトピックを扱います。

- 「一般的な注意事項」(P.A-1)
- 「機器を扱う場合の注意」(P.A-3)
- 「電気製品を扱う場合の注意」(P.A-3)
- 「静電破壊の防止」(P.A-5)
- 「持ち上げ時のガイドライン」(P.A-5)

一般的な注意事項

アプライアンスの使用および取り扱いには、次の一般的な注意事項を守ってください。

- サービスに関するマーキングに従ってください。アプライアンス マニュアルで説明されている場合を除き、シスコ製品の保守を行わないでください。稲妻が描かれた三角形の印がついたカバーを開閉するときは、感電のおそれがあります。このような区画内にあるコンポーネントの修理は、認定されたサービス技術者だけが行う必要があります。

- 次のいずれかの状態が発生した場合は、電源コンセントから製品を取り外してパーツを交換するか、許可された保守技術者にご連絡ください。
 - 電源ケーブル、延長コード、またはプラグが損傷している。
 - 何かの物体が製品に入り込んだ。
 - 製品に水がかかった。
 - 製品が落下または損傷した。
 - 操作指示に従っているのに、製品が正しく動作しない。
- アプライアンスをラジエータや熱源の近くに置かないでください。また、通気口をふさがないでください。
- アプライアンスの上に食べ物や液体をこぼさないでください。また、水気のある環境で本製品を操作しないでください。
- アプライアンスの開口部に物を押し込まないでください。内部コンポーネントがショートして火災や感電の原因となる可能性があります。
- 製品は、シスコによって承認されている他の機器だけで使用してください。
- カバーを取り外すか、内部コンポーネントに触れる前に、製品を冷却できます。
- 正しい外部電源を使用してください。製品の電気定格ラベルに表示されている、電源のタイプからのみ製品を操作してください。必要な電源の種類が不明な場合は、サービス担当者または現地の電力会社にお問い合わせください。
- 認定された電源ケーブルだけを使用してください。ご使用のアプライアンス用、またはご使用のアプライアンス向けの AC 電源オプション用の電源ケーブルが付属していない場合は、国で使用が承認された電源ケーブルを購入してください。

電源ケーブルが、製品と、製品の電気定格ラベルに記載された電圧および電流に適合することを確認してください。ケーブルの電圧と電流の定格は、製品に記載されている定格よりも大きい必要があります。

- 感電事故を予防するため、アプライアンスおよび電源ケーブルは、適正に接地されたコンセントに接続してください。これらのケーブルには適切な接地を可能にする 3 極プラグが装着されています。アダプタ プラグを使用したり、ケーブルから接地極を外したりしないでください。延長コードを使用する必要がある場合は、適切に接地されたプラグが装着された 3 線コードを使用してください。
- 延長コードとテーブル タップの定格を遵守してください。延長コードまたはテーブル タップに差し込まれたすべての製品の合計アンペア定格が、延長コードまたはテーブル タップのアンペア定格限度の 80 % を超えないようにしてください。
- アプライアンス電圧変換器、またはアプライアンス用に販売されているキットを、製品とともに使用しないでください。
- 一時的に急激に起こる電源電圧の上昇または下降からアプライアンスを保護するには、サージ抑制装置、パワー コンディショナ、または無停電電源装置 (UPS) を使用してください。
- ケーブルと電源コードは慎重に配置してください。ケーブルと電源コードは、人に踏まれたり、それによって人が躓いたりしないように配線して差し込んでください。また、アプライアンスのケーブルまたは電源ケーブルの上に物を置かないように注意してください。
- 電源ケーブルとプラグを改造しないでください。場所を変更する場合は、ライセンスを待つ電気技術者または電力会社にお問い合わせください。現地または該当国の配線規定に必ず従ってください。

機器を扱う場合の注意

安全を確保して、機器を保護するため、次のガイドラインに従ってください。ただし、このリストには、生じる可能性のある危険な状況がすべて網羅されているわけではありません。絶えず注意してください。

**警告**

設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004

- アプライアンスを移動する前に、必ずすべての電源コードおよびインターフェイス ケーブルを外してください。
- 回路の電源が切断されていると思いたまわないで、必ず確認してください。
- 設置作業前および作業後は、アプライアンスのシャーシの設置場所を整理し、埃のない状態に保ってください。
- 工具とアセンブリ コンポーネントは、通行の邪魔にならない場所に保管してください。
- 危険を伴う作業は、1 人では行わないでください。
- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。
- ゆったりとした衣服は身につけず、アプライアンスのシャーシに引っかかることがないようにしてください。
- 目が危険にさらされる状況で作業する場合は、保護眼鏡を着用してください。

電気製品を扱う場合の注意

**警告**

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。出入りが制限された場所とは、特殊なツール、ロックおよびキー、または他のセキュリティ手段を使用しないと入室できない場所を意味します。
ステートメント 1017

**警告**

感電を防ぐため、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路が、WAN ポートには TNV 回路が組み込まれています。一部の LAN ポートおよび WAN ポートは RJ-45 コネクタを使用しています。ステートメント 1021

**警告**

電源コードが接続されている場合は、電源に触れないでください。電源スイッチを備えたシステムの場合、電源スイッチがオフになっていても、電源コードが接続されていれば、電源装置内部に入力電圧がかかっています。電源スイッチのないシステムの場合、電源コードが接続されていれば、電源装置内部に入力電圧がかかっています。ステートメント 4

**警告**

電力システムに接続された装置で作業する場合は、事前に、指輪、ネックレス、腕時計などの装身具を外してください。金属は電源やアースに接触すると、過熱して重度のやけどを引き起こしたり、金属類が端子に焼き付いたりすることがあります。ステートメント 43



警告

シャーシの作業や電源モジュール周辺の作業を行う前に、AC 装置の電源コードを外し、DC 装置の回路ブレーカーの電源を切ってください。ステートメント 12



警告

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行ったりしないでください。ステートメント 1001



警告

この機器は接地されることを前提にしています。通常の使用時にホストが接地されていることを確認してください。ステートメント 39



警告

装置を設置または交換する際は、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。ステートメント 1046

電気で動く機器を操作する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 部屋の緊急電源遮断スイッチを確認します。これにより、電気事故が発生した場合に、ただちに電源をオフにすることができます。
- 次のタスクを実行する前にすべての電源を切ってください。
 - 電源付近で作業する場合
 - アプライアンスの取り付けまたは取り外しを行う場合
 - ほとんどのハードウェア アップグレードを行う場合
- 故障していると思われる機器は取り付けないでください。
- 床が濡れていないか、接地されていない電源延長コードや保護アースの不備などがないかどうか、作業場所の安全を十分に確認してください。
- 回路の電源が切断されていると思い込まないで、必ず確認してください。
- 人を危険にさらしたり、装置の安全性を損なったりする可能性のある作業は、いっさい行わないでください。
- 危険を伴う作業は、1 人では行わないでください。
- 電気事故が発生した場合は、次の手順に従ってください。
 - 十分注意して、自分自身が被害者にならないようにしてください。
 - アプライアンスの電源を切ってください。
 - 可能であれば、医療を受けるために別の人を呼びます。それができないときは、被害者の状態を判別してから助けを呼んでください。
 - 被害者が人工呼吸、心臓マッサージ、またはその他の治療を必要としているかどうか判断して、適切な処置を施してください。

さらに、電源は切断されているが、電話回線またはネットワーク ケーブルにはまだ接続されている機器を取り扱う場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 雷が発生しているときには、電話線の接続を行わないでください。
- ジャックが特別に設計されている場合を除き、電話のジャックを水気のある場所では設置しないでください。

- 電話回線がネットワーク インターフェイスから切り離されていない限り、絶縁されていない電話ケーブルや端子には、触れないでください。
- 電話回線の設置または変更は、十分注意して行ってください。

静電破壊の防止

静電放電は、機器に損傷を与えたり、電気回路を損なったりする可能性があります。静電放電は、電気プリント基板の取り扱いが不適切な場合に生じ、障害あるいは断続的障害を引き起こします。モジュールの取り外しまたは交換を行うときは、必ず次の静電気防止手順に従ってください。

- 静電放電を受けやすいコンポーネントを輸送用ボックスから取り出すときは、アプライアンスにそのコンポーネントを取り付ける準備が整うまで、静電気防止用梱包材からコンポーネントを取り出さないでください。静電気防止用の梱包材を取り外す直前に、必ず身体から静電気を放電します。
- 精密なコンポーネントを輸送する場合、まずそのコンポーネントを静電気防止用の容器または包装材に配置します。
- 精密なコンポーネントは必ず耐静電気の安全な区域で処理します。可能な限り、静電気防止のフロアパッドおよび作業台パッドを使用します。
- Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスが電氣的に接地されていることを確認してください。
- 静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。クリップをアプライアンスの塗装されていない表面に止めて、不要な静電気がアースに流れるようにします。静電破壊と感電を防ぐために、リストストラップとコードは効果的に使用する必要があります。
- リストストラップがない場合は、アプライアンスの金属部分に触れて、身体を接地してください。



注意

機器の安全を確保するために、静電気防止用リストストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は、1 ~ 10 Mohm でなければなりません。

持ち上げ時のガイドライン

Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスは、アプライアンスに取り付けられているハードウェア オプションに応じて、15 ~ 33 ポンド (9.071 ~ 14.96 kg) の重さがあります。アプライアンスは、頻繁に移動されることを想定していません。アプライアンスを設置する前に、電源とネットワーク接続に対応するためにアプライアンスを後で移動する必要性が生じないように、設置場所が正しく準備されていることを確認してください。

アプライアンスまたは重い物を持ち上げる場合は、以下のガイドラインに従ってください。

- アプライアンスを持ち上げたり移動したりする前に、必ずすべての外部ケーブルを外してください。
- 足元を安定させ、両足で均等にシャーシの重量を支えるようにします。
- アプライアンスをゆっくり持ち上げます。突然移動したり、持ち上げるときに体をひねったりしないでください。
- 背中をまっすぐに保ち、背中ではなく脚で持ち上げます。アプライアンスを持ち上げるためにかがむ必要がある場合は、腰ではなく膝を曲げて、腰部の筋肉への負担を軽減してください。
- アプライアンスは下部から持ち上げてください。両方の手でアプライアンス外部の下側をつかみます。

設置場所の準備

ここでは、設置場所の計画、設置場所の準備、および Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスの設置の準備について、次のトピックで説明します。

- 「設置場所の計画」(P.A-6)
- 「出荷内容の開梱と確認」(P.A-11)
- 「必要な工具と部品」(P.A-13)
- 「インストール チェックリスト」(P.A-14)
- 「サイト ログの作成」(P.A-14)

Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスを設置する前に、次のステップを完了してください。

-
- ステップ 1** 設置場所を準備して（「[設置場所の計画](#)」(P.A-6) を参照）、設置計画や導入場所の調査資料があれば確認します。
- ステップ 2** アプライアンスを開梱して調べます。
- ステップ 3** アプライアンスを正しく設置するために必要な工具とテスト機器を収集します。
-

設置場所の計画



警告

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。出入りが制限された場所とは、特殊なツール、ロックおよびキー、または他のセキュリティ手段を使用しないと入室できない場所を意味します。

ステートメント 1017

通常、設置場所を事前に準備しておく必要があります。準備の一環として、設置場所および Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスが収容される装置ラックの見取り図を入手してください。

既存のアプライアンスの場所、および通信と電源を含む相互接続を判別します。通気に関するガイドライン（「[通気に関するガイドライン](#)」(P.A-8) を参照）に従って、アプライアンスに十分な冷気を行きわたらせてください。

アプライアンスの設置に関与するすべての担当者（設置担当者、エンジニア、監督者）が、お客様による承認のために Method of Procedure (MOP) の準備に参加する必要があります。詳細については、「[Method of Procedure](#)」(P.A-10) を参照してください。

次の項では、アプライアンスを設置する前に考慮する必要がある設置場所の要件に関するガイドラインについて説明します。

- 「ラックへの設置の安全に関するガイドライン」(P.A-7)
- 「設置場所の環境」(P.A-8)
- 「通気に関するガイドライン」(P.A-8)
- 「温度と湿度に関するガイドライン」(P.A-9)
- 「電源に関する考慮事項」(P.A-9)
- 「Method of Procedure」(P.A-10)

ラックへの設置の安全に関するガイドライン

Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスは、装置ラックに関する EIA 標準 (EIA-310-D) に準拠する、ほとんどの 4 支柱、電話会社タイプ (Telco タイプ) の 19 インチ装置ラックに設置できます。2 つの支柱にある取り付け穴の中心線間の距離は、18.31 インチ +/- 0.06 インチ (46.50 cm +/- 0.15 cm) でなければなりません。アプライアンスに付属のラック取り付けハードウェアは、ほとんどの 19 インチの装置ラックまたは Telco タイプのフレームに適しています。

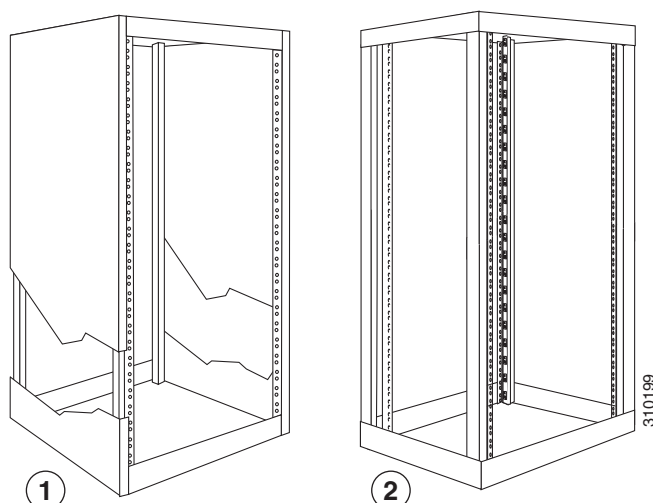


(注)

可能な限り 4 支柱ラックを使用することが強く推奨されますが、ラックには、アプライアンスを取り付けるためにマウント フランジを提供する支柱が少なくとも 2 つが必要です。

図 A-1 に、4 支柱装置ラックの一般的な 2 つの例を示します。

図 A-1 4 支柱装置ラックのタイプ



4 支柱（部分的に密閉）ラック

図 A-1 の図「1」に、前面に 2 つの支柱があり、背面にさらに 2 つの支柱がある、自立型の部分的に密閉されたラックを示します。Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスは、このような閉鎖型ラックに設置できます。これは、このアプライアンスでは、内部コンポーネントの許容動作温度を保持するために、冷気が妨げられずにシャーシの前面に流れ、背面から出て行くようにする必要があります。

4 支柱（オープン）ラック

図 A-1 の図「2」に、前面に 2 つの支柱があり、背面に 2 つの支柱がある、自立型の 4 支柱のオープンラックを示します。このタイプのラックの支柱は、多くの場合調整可能であるため、ラックの前面と面一に取り付けるのではなく、ラックの奥にラック取り付け型の装置を配置できます。

Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスをラックに取り付ける前に、次のガイドラインを確認してください。

- ラックにアプライアンスを設置するには、2 人以上が必要です。
- 室温が 95 °F (35 °C) を下回っていることを確認します。
- 通気孔をふさがないでください。通常、6 インチ (15 cm) のスペースで通気が行きわたります。
- アプライアンスの設置の際は、ラックの下部から考慮してください。

- 複数のアプライアンスをラックの外側に同時に延ばさないでください。
- アプライアンスは、正しく接地されたコンセントに接続してください。
- ラックに複数のデバイスを設置する場合は、電源コンセントの過負荷が発生しないようにしてください。
- 110 ポンド (50 kg) を超える重さの物をラック取り付け型デバイスの上部に置かないでください。

設置場所の環境

正常に動作させるには、アプライアンスの配置、装置ラックまたは配線室のレイアウトが非常に重要です。配置が近すぎる機器、不適切な通気、およびアクセスできないパネルによって、誤動作やシャットダウンが生じ、メンテナンスが困難になる可能性があります。アプライアンスの前面パネルと背面パネルへのアクセスを計画します。

次の注意事項を考慮することで、アプライアンスに適した動作環境を確保し、環境による装置の故障を防ぐことができます。

- アプライアンスを使用する室内で、十分な換気が可能であることを確認してください。電子機器は放熱します。十分に空気循環されていないと、室内の温度が高くなり、機器を許容動作温度に冷却できなくなる場合があります。詳細については、「[通気に関するガイドライン](#)」(P.A-8)を参照してください。
- ラックの設置に、AC 電源、アース接続、およびネットワーク ケーブルのプロビジョニングも含まれていることを確認します。
- 十分なスペースを確保して、設置中にラックの周囲で作業できるようにします。次のことが必要です。
 - アプライアンスを移動、位置合わせ、および挿入するために、ラックに隣接する少なくとも 3 フィート (9.14 m)。
 - 設置後のメンテナンスのために、アプライアンスの前面と背面に少なくとも 24 インチ (61 cm) の空間。
- 2 つの支柱またはレールの間にアプライアンスを取り付けるには、使用可能な開口 (2 つのマウントフランジの内端間の幅) は少なくとも 17.7 インチ (45.0 cm) でなければなりません。



(注) ラックマウント キットには、2 支柱の装置ラックは含まれていません。

- ケーブルと機器の接続を保護するには、適切なストレーンレリーフ方法を使用してください。
- ネットワーク インターフェイス ケーブルでのノイズの干渉を回避するには、電源コード間または電源コードに沿って直接配置しないでください。
- 機器の破損を防ぐため、「[静電破壊の防止](#)」(P.A-5)に記載されている静電放電の防止手順に必ず従ってください。静電放電による損傷によって、即時または断続的な機器障害が発生する可能性があります。

通気に関するガイドライン

装置ラック内で十分な通気を確保するには、ラックの前面と背面に少なくとも 6 インチ (15.24 cm) の空間を維持することを推奨します。装置ラックと、ラックに配置されているアプライアンス内の通気が、ブロックまたは制限されている場合、またはラックに流れる換気の温度が高すぎると、装置ラック内の温度が上がり過ぎてアプライアンスが過熱する可能性があります。

また、設置場所では、可能な限り埃のない状態にする必要があります。埃はアプライアンスのファンに詰まる傾向があり、装置ラックと、ラックに配置されているアプライアンス内で冷気の流れが低下します。この種の通気の低下によって、温度が上がり過ぎて、アプライアンスがオーバーヒートするリスクが高まります。

さらに、次のガイドラインは、装置ラックの構成を計画する場合に役立ちます。

- 通気の他に、ラックの周囲に、メンテナンスに必要な空間を確保する必要があります。
- オープンラックにアプライアンスを設置する場合、ラックのフレームで前面の吸気口や背面の排気口をふさがないように注意してください。

温度と湿度に関するガイドライン

表 A-1 に、Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスの稼働環境の設置場所と非稼働環境の設置場所の要件をリストします。アプライアンスは通常、リストされている範囲内で稼働します。ただし、最小パラメータまたは最大パラメータに近い温度の測定は、問題の可能性を示しています。

アプライアンスを設置する前に設置場所を正しく計画して準備して、臨界値に近づく前に、環境の異常を予期して修正することで、正常な動作を維持してください。

表 A-1 稼働環境仕様と非稼働環境仕様

仕様	最小	最大
動作時の温度	50 °F (10 °C)	95 °F (35 °C)
非動作時および保管時の温度	-40 °F (°C)	158 °F (70 °C)
動作時の湿度 (結露しないこと)	10 %	90 %
非動作時および保管時の湿度 (結露しないこと)	5 %	95 %
動作時の振動	5–500 Hz、2.20 g RMS ランダム	—

電源に関する考慮事項

Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスは、AC 入力電源のみで構成します。すべての電源接続が National Electrical Code の規則と規制、および地域の規定に準拠していることを確認します。アプライアンスへの電源接続を計画する際には、次の注意事項と推奨事項に従う必要があります。

- 設置する前と、設置後に定期的に、設置場所の電源を調べ、質の良い (スパイクやノイズのない) 電力が供給されていることを確認してください。必要に応じて、電力調整器を取り付けてください。
- AC 電源には次の機能があります。
 - 110 V または 220 V 運用の自動選択機能。
 - すべてのアプライアンスの電気コード (電源コードの近くにあるラベルは、アプライアンスの正しい電圧、周波数、電流引き込み、および消費電力を示しています)。



警告

この製品は設置する建物に回路短絡 (過電流) 保護機構が備わっていることを前提に設計されています。120 VAC、15 A (米国) (240 VAC、10 A (国際規格)) 以下のヒューズまたは回路ブレーカーが、相導体 (すべての電流コンダクタ) で使用されていることを確認してください。ステートメント 13

- 装置ラックで適切に接地し、雷や電力サージによる損傷を防止してください。



警告

この装置は、接地させる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。ステートメント 1024

- オペレータによる調整の必要がない、100 ~ 240 VRMS と 50 ~ 60 Hz の範囲内の入力電圧と周波数で AC 入力電源モジュールが稼働することを確認してください。表 A-2 に、電気入力に関する追加情報を示します。

表 A-2 電気入力の仕様

仕様	最小	最大
正弦波入力	50 Hz	60 Hz
入力電圧の低範囲	100 VAC	127 VAC
入力電圧の高範囲	200 VAC	240 VAC
おおよその入力キロボルト アンペア (kVA)	0.102 kVA	0.55 kVA

Method of Procedure

以前に説明したように、準備には設置計画または MOP の確認が含まれます。MOP は、設置前のチェックリストや作業のリスト、ガイドライン、または設置に進む前に対処して同意する必要がある考慮事項です。次に MOP がガイドラインとして機能する例を示します。

-
- ステップ 1 担当者を割り当てます。
 - ステップ 2 担当者、機器、および工具の保護要件を決定します。
 - ステップ 3 保守に影響する可能性がある事故を評価します。
 - ステップ 4 設置の時期をスケジュールします。
 - ステップ 5 スペースの要件を決定します。
 - ステップ 6 所要電力を決定します。
 - ステップ 7 必要な手順またはテストを特定します。
 - ステップ 8 装置の計画において、設置する各 Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスの配置の予備決定を行います。
 - ステップ 9 このハードウェア設置ガイドを確認します。
 - ステップ 10 設置のために交換可能なパーツ（ネジ、ボルト、ワッシャなど）のリストを確認して、特定します。
 - ステップ 11 必要な工具とテスト機器が使用可能であることを確認するために、必要な工具リストを調べます。詳細については、「必要な工具と部品」(P.A-13) を参照してください。
 - ステップ 12 設置を実行します。
-

出荷内容の開梱と確認

Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスの出荷パッケージは、出荷中の通常の運搬に関連する製品損傷の可能性を減らすように設計されています。製品の損傷の可能性を減らすには、アプライアンスを元のシスコの梱包材で移送してください。そうしないと、アプライアンスが損傷を受ける可能性があります。また、設置の準備ができるまでは、アプライアンスを出荷容器から出さないでください。

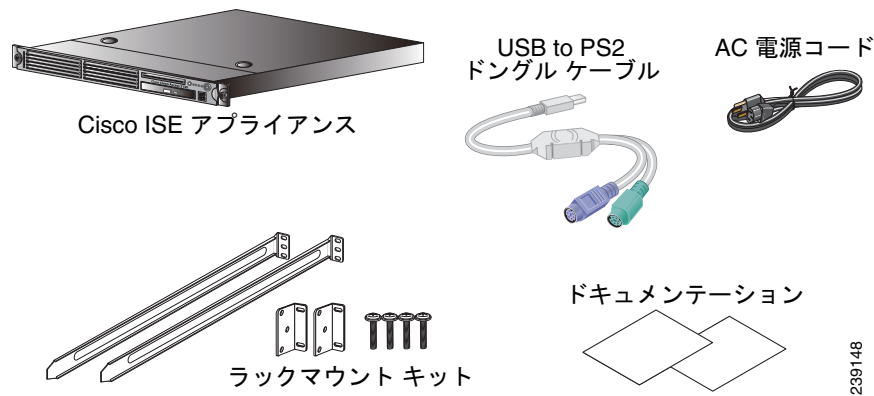
アプライアンス、ケーブル、および注文したオプションの機器は、複数の容器で出荷されることがあります。損傷を受けたり、足りなかったりする項目を記録するために、*Notes* セクションがあります。

図 A-2 に、Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスでの出荷項目を表示します。



(注) Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスの出荷時に使用される梱包材料を廃棄しないでください。アプライアンスを移動または出荷する場合に、将来梱包材料が必要になります。

図 A-2 Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスと一緒に出荷される項目



出荷時の損傷がないかどうか、すべての項目を調べます。損傷を受けている物がある場合、またはアプライアンスの設置または構成の問題が発生した場合は、カスタマー サービス担当者にお問い合わせください。



(注) ラックマウント キットには、2 支柱の装置ラックは含まれていません。

『Cisco Information Packet』と保証

『Cisco Information Packet』には、保証、保守、およびサポート情報が記載されています。次の手順を実行して、ブラウザで次の場所を指定して Cisco.com から『Cisco Information Packet』、保証、およびライセンス契約書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpkc/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

『Cisco Information Packet』を表示するには、次の手順を完了します。

ステップ 1 [情報パケット番号 (Information Packet Number)] フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03D0 が選択されていることを確認します。

- ステップ 2** 文書を表示する言語を選択します。
- ステップ 3** [実行 (Go)] をクリックします。
Information Packet の [Cisco Limited Warranty and Software License] ページが表示されます。
- ステップ 4** このページから文書をオンラインで見るとも、[PDF] アイコンをクリックして、文書をダウンロードし、印刷することもできます。
PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Adobe の Web サイトからこれをダウンロードできます。

お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を完了します。

- ステップ 1** [保証文書番号 (Warranty Document Number)] フィールドに、次の製品番号を入力します。
78-5236-01C0
- ステップ 2** 文書を表示する言語を選択します。
- ステップ 3** [実行 (Go)] をクリックします。
Cisco warranty ページが表示されます。
- ステップ 4** このページから文書をオンラインで見るとも、[PDF] アイコンをクリックして、文書を PDF 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。
<http://www.cisco.com/en/US/support/>

ハードウェア保証期間

90 日間です。

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。



(注) シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

RMA 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品情報	説明
製品の購入先	
購入先の電話番号と Web サイトのロケーション	
製品モデル番号：	
製品シリアル番号： ¹	
保守契約番号	

1. 詳細については、「Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンス ハードウェアの概要」(P.2-1)、「Cisco ISE 3355 のシリアル番号の場所」(P.2-9)、「Cisco ISE 3395 のシリアル番号の場所」(P.2-14)、および「アプライアンスのシリアル番号の確認」(P.C-5)を参照してください。

必要な工具と部品



注意

ラックマウント キットの固定器具パックには、8 個のラック用ネジが含まれています。これらのネジを調べて、ラックの穴に合った適切なサイズであることを確認する必要があります。ラックのネジ穴に誤ったサイズのネジを使用すると、ラックが損傷を受ける可能性があります。

4 支柱ラックに Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスを設置するために必要な工具および部品は、次のとおりです。



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030

- 静電気防止用コードとリスト ストラップ。
- No.2 プラス ドライバ。
- メモリまたはその他のコンポーネントをアップグレードする場合は、カバーを取り外すためにマイナス ドライバ (小型の 3/16 インチ (0.476 cm) と中型の 1/4 インチ (0.625 cm))。
- ラックマウント キット。キットの内容の詳細については、「4 支柱ラックマウント ハードウェア キットの使い方」(P.B-3)を参照してください。
- LAN ポートに接続するためのケーブル (構成によって異なる)。
- イーサネット (LAN) ポートへの接続用にイーサネット スイッチ。

Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスの初期構成を行うには、次の物のいずれかが必要です。

- USB キーボードおよび VGA モニタ。
- または
- 9600 ボー、8 データ ビット、パリティなし、1 ストップ ビット、およびハードウェア フロー制御なし用に構成されたコンソール端末 (ASCII 端末または端末エミュレーション ソフトウェアが実行されている PC)。
 - シリアル (コンソール) ポートに接続するためのコンソール ケーブル。ヌルモデム ケーブルが推奨されます。

インストレーション チェックリスト

設置を支援し、行った作業の履歴レコードを提供するには、次のインストレーション チェックリストを使用してください。このチェックリストのコピーを作成し、各タスクの完了時にエントリにマーク付けします。

チェックリストの記入が完了したら、各 Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスのチェックリストのコピーを、新しいアプライアンスのその他のレコードとともに、サイト ログに含めます（サイト ログの作成については、「[サイト ログの作成](#)」(P.A-14) を参照してください）。

設置場所のインストレーション チェックリスト: Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンス:

タスク	確認者	日付
インストレーション チェックリストをコピーする		
サイト ログに背景説明を含める		
設置場所の電源電圧を確認する		
設置場所の電源チェック完了		
必要な工具が使用可能であることを確認する		
追加の機器が使用可能であることを確認する		
Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスを受け取る		
資料『Cisco Information Packet』を受け取る		
アプライアンス コンポーネントを確認する		
最初の電源投入成功		
ASCII 端末（ローカル設定用）を確認する		
信号の距離制限を確認する		
起動シーケンス手順完了		
初期動作を確認する		

サイト ログの作成

Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスに対して実行されるすべての設置、メンテナンス、アップグレード、交換、および変更のレコードとして機能するサイト ログを保持できます。ログは、アプライアンスの近くの場所で利用できる状態にして、タスクを実行する人がアクセスできるようにします。

インストレーション チェックリスト（「[インストレーション チェックリスト](#)」(P.A-14) を参照）を使用して、アプライアンスの設置とメンテナンスの手順を確認します。サイト ログに記録する内容は次のとおりです。

- 設置の進行：アプライアンスのインストレーション チェックリストのコピーを作成して、サイト ログに挿入します。各タスクの完了時に、エントリを作成します。
- アップグレード、取り外し、およびメンテナンス手順：進行中のアプライアンスのメンテナンスと拡張履歴のレコードとして、サイト ログを使用します。アプライアンスでタスクを実行するたびに、サイト ログを更新して、次の情報を反映させます。
 - 新規アダプタ カードの取り付け
 - アダプタ カードの取り外しまたは交換と、その他のアップグレード

- 設定変更
- メンテナンスのスケジュールと要件
- 実行したメンテナンス手順
- 間欠的な問題
- コメントとメモ

イーサネット コネクタおよびコンソール ポートのガイドライン

この項では、Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンス用のイーサネット コネクタおよび非同期シリアル コンソール ポートについて、次のガイドラインを示します。

- 各 Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスは、背面パネル上でイーサネット コネクタを提供し、ギガビットイーサネット 0 ポートは非シールドより対線 (UTP) ケーブル接続を使用します (カテゴリ 6 UTP ケーブルが推奨されます)。セグメントの最大距離は 328 フィート (100 m) です。
UTP ケーブルは、通常の電話に使用されるケーブルと似ています。ただし、UTP ケーブルは、電話ケーブルでは満たされない電気規格を満たします (これらの UTP ケーブルは、インストレーション パッケージには含まれていません)。
- 各 Cisco 3300 シリーズ アプライアンスは、背面パネル上で、(コンソール端末を使用して) アプライアンスにローカルでアクセスできるようにする非同期シリアル コンソール ポートを提供します。コンソール端末 (ASCII 端末または端末エミュレーション ソフトウェアが実行されている PC のいずれか) をコンソール ポートに接続する前に、正しいタイプのケーブル接続を確認して使用することが重要です。



注意

ネットワーク セキュリティの潜在的な脅威を回避するために、接続を使用していないときは、Cisco ISE のコンソール管理ポートから物理的に切断しておくことを強く推奨します。詳細については、<http://seclists.org/fulldisclosure/2011/Apr/55> を参照してください (Cisco ISE、Cisco NAC アプライアンス、および Cisco Secure ACS ハードウェア プラットフォームに適用されます)。



(注)

コンソール ケーブルは Cisco ISE 3300 シリーズ アプライアンスに含まれていません。

■ イーサネットコネクタおよびコンソールポートのガイドライン